

個々の立場を尊重する医師のワーク・ライフ・バランス^{*}対応

社会医療法人明和会医療福祉センター 法人本部 人事主幹 竹中君夫



渡辺病院 本館

【法人概要】

名称 社会医療法人 明和会医療福祉センター

- [渡辺病院／心療内科・精神科・神経内科 317床]：鳥取市東町3-307
- [ウエルフェア北園渡辺病院／内科・神経内科・リハビリテーション科 360床] 鳥取市覚寺181
- [職員数 2017／4時点]：691名 医師42名（常勤18名）、看護職290名、介護士188名 など

今から数年前、ご主人の転勤に合わせて、東日本から鳥取市に移住することになった女性医師（A先生）の採用を担当する機会がありました。業務キャリアの面でも家庭環境的にもフルタイムの勤務が可能な方でしたが、ご夫婦とも、山陰地方で暮らすのが初めて、知人もゼロということで、不安を抱いておられました。また、車を運転されないため、A先生は、鳥取市で暮らすのに非常に不便な状況に置かれていました。

私は、渡辺憲理事長（渡辺病院院長）に相談した上で、当法人で定着しているWLBに配慮した

勤務形態を打診してみました。すると、A先生は土日以外に水曜日を休みにする週休3日制を希望されました。見知らぬ土地で生活を始める上に、ご主人のお仕事も相当に忙しそうでしたから、平日に休みを1日増やすことで、ご夫婦の時間を大切にしようと思われたのかもしれませんが、また、当直は月1回を頑張ってもらうことになりました。

さて、A先生が着任して2～3ヵ月が経過しますと、看護部や事務部などからスタッフの声が聞こえてきました。A先生は、患者さんに積極的に関わり、何より医師としての確かな実力を備えておられたので、一緒に仕事をしたスタッフは「素敵な医師が着任された」と口を揃えていました。ただ、一方で、A先生の当直回数は少なく勤務時間も短いわけですから、私たちは、A先生が短縮された時間分を頑張っている医師との処遇上のバランスを常に考慮して対応するようにしました。幸いにして、当法人では、こうしたWLBのテーマに看護部門で数多く対応してきた経験から、当直の回数に合わせて報酬条件を調整する人事システムを備えていました。その結果、A先生にも円滑に対応することができました。

ちなみに、個々の責任領域が明確であり、看護職ほどチームで動く必要がないため、医師は、勤務時間を柔軟に調整しやすい職種であるように思います。実際、当法人では、A先生のような事例を含めて、子育て以外の理由でも、週休3日制や

^{*}注）多様な勤務形態を志向した人事制度をWLB（ワーク・ライフ・バランス）制度と表記。

短時間勤務、当直回数の調整等を行ったケースが珍しくはありません。WLB制度を利用される医師と同様に、負荷が重い勤務を担当している同僚医師の立場も十分に尊重してきめ細かく対応すれば、全員が納得できる医師のWLB制度を機能させることも可能と考えています。もちろん、WLB制度を使う医師が、限られた時間の中でも、A先生のように献身的に取り組まれることが前提です。

その後、惜しまれながらも、再びご主人の転勤

によって東海地方に転居されたA先生から、昨年の冬、久しぶりに連絡をいただきました。いただいた電子メールには画像が添付されており…可愛らしいご家族がお一人増えていました。新しく勤めた病院で産休から職場復帰された今、渡辺病院でのご勤務を懐かしく思い出しておられるとのこと。短い期間ではありましたが、A先生がWLB制度を活用しながら医師としてのキャリアを伸ばし、さらに、鳥取で気持ち良く働いていただけたことが、人事担当者としては、とてもうれしく、そして、少しだけ…誇らしく思いました。

鳥取県医師会 女性医師支援相談窓口 「Joy! しろうさぎネット」設置のお知らせ

女性医師支援相談窓口「Joy! しろうさぎネット」は、出産・育児・介護など家庭生活と勤務の両立、また離職後の再就職への不安などを抱える女性医師に対し、助言や情報提供を行い、女性医師等の離職防止や再就職の促進を図ることを目的としています。

女性医師のみなさん、お気軽にご相談ください。

(対 象) 鳥取県内の女性医師

(相談内容) 出産・育児・介護など家庭生活と勤務の両立、
再就業に関する事など

(相談方法) E-mail

「Joy! しろうさぎネット」事務局

〒680-8585 鳥取市戎町317 (公社) 鳥取県医師会内

E-mail : joy-shirousagi@tottori.med.or.jp

